

令和4年度米子市美術館協議会議事録（概要）

開会（13：30）

会長 挨拶を行い、昨年書面評決のため出席委員の自己紹介を行う。

議題1 令和3年度米子市美術館事業報告について

（館長が資料に沿って令和3年度1月から3月までの事業報告を行う。）

（会長）報告ありがとうございます。今の報告について何かご質問はありますでしょうか。他の部分の質問でもかまいませんし、何かご意見ご質問ございませんでしょうか。

（会長）では、私の方から、今の報告とは少し別のところにはなりますが、新規でオリジナルグッズの作成とありますが、色々調査されたり、ヒアリング等をされて作成された感じでしょうか。

（美：館長）これは、令和4年度に実施制作を行いました。次の令和4年度のところで報告させてもらう予定でしたが、美術館オリジナルトートバッグ（4種類）とオリジナルクリアファイル（1種類）を制作させていただきました。

（会長）トートバッグという要望が多かったということでしょうか。

（美：館長）そうです。

（委員）今のに関連して、オリジナル商品を既にホームページや通信販売もされているようですが、オリジナル商品は何処かに展示もされているのでしょうか。

（美：副館長）現在、満田展を開催していますが、その受付にもオリジナル商品を展示していますし販売も行っています。

（委員）オリジナルグッズの販売状況は、どのような感じでしょうか。

（美：館長）販売状況には差があり、種類によって売れているものとそうでないものがあります。美術館ロゴマークをデザインにしたトートバッグ（カラー：ブラック）が、一番沢山売れている状況です。是非、オリジナル商品を見ていただければと思います。

(委員) ありがとうございます。

(会長) その他、いかがでしょうか。それでは、ご意見ないようですので、議題(2)の令和4年度米子市美術館事業報告について、美術館より報告説明をお願いします。

議題2 令和4年度米子市美術館事業報告について

(館長が資料に沿って事業報告について説明を行う。以下、補足。)

- ・令和4年度の報告について資料は年度分をつけておりますが、昨年の4月から12月までの報告説明を行う。
- ・企画展は郷土ゆかりの注目作家である伯耆町出身の鈴木康生展を開催した。目標を1,500人としていたが、2,500人を超える来館があった。関連事業についても実施することが出来た。(当日配布された図録を基に紹介。あまりなじみのない木口を版木として制作された版画について説明。)
- ・特別企画展の満田晴穂展は現在開催中。満田氏は数年前に情熱大陸でも取り上げられ、その超絶技法で作られた自在置物は、是非、委員の皆さま方にも見ていただきたい。
- ・特別共催展の田中達也展は、朝ドラ「ひよっこ」のタイトルバックで使用された作家の展示で、全作品を撮影可能としたことで、かなりの来場者がありました。入場者数も30,000人に迫り、一年前の草間展の20,000人強を上回る結果となりました。チームラボという催しもあったが、こちらは体験型のイベントであり、展示のイベントとして20,000人を超えが続いたのは久しぶりとなります。また、この田中展の入場者数は、米子市美術館の歴代5位の記録となります。
- ・市展は、出品・入場者ともに減少しました。原因としては、前年は60回の記念展として特別賞を設けたことや、コロナ感染状況により1年延期で開催されたことも要因ではないかと思えます。
- ・県展は、境港市民交流センターがオープンした関係で記念展として開催。西部では2回(米子市・境港市)開催されました。境港では選抜展として、境港市関連の作家と受賞者、無鑑査の方の展示でした。その関係で、米子会場は減るのではないかと予想しておりましたが、若干ですが前回より多い入場者を記録しました。(資料記載の初日のギャラリートークは中止)
- ・コレクション展Ⅰは、一昨年末に美術館後援会から寄贈を受けた作品を中心に、新コレクションとして行いました。コレクション展Ⅱは、会期中に「文化の日」や「関西文化の日」があることなどから、両日は無料開放日としました。
- ・教育普及事業について、3月に開催予定の美術上映会は、春に特別共催展「大広重展」を開催することもあり、「4Kでよみがえる浮世絵2 歌川広重『名所江戸百景』」を上映します。

・貸館事業について、新協展は長きにわたって開催していただき、春は新協から始まると言われるまでになっていますが、残念ながら64回が最後の展覧会となりました。

(会長) そういたしましたら、今の令和4年度の報告について何かご質問はありますでしょうか。

(会長) では、私の方から田中展についてですが、このコロナ禍のなか、これだけの集客。私も見させていただきましたが、普段来館されないようなファミリー層が多かったように感じた。写真撮影が自由というのがSNSなど様々なところでシェアすることができ、そのようなところで拡散できたのかなと感じました。子供の割合などの集計はとっておられますでしょうか。

(美：館長) 手元にはありませんが、集計しております。通常美術館のコアなお客は60代から70代が一番多い。田中展では、確かに家族連れが明らかに多いように感じました。

(会長) 普段来られない方の集計は、今後の計画などの参考にはなるかと思しますので、分析研究していただければよいのではないかと考えます。

(委員) SNSとかでの来館者は若い方が多いかと思いますが、グッズの販売も充実していてよかったですと感じます。私自身も何点か購入させていただきました。

(委員) 関連していますが、チームラボの時もそうでしたが、普段前売り券を購入されない方からの反応があったり、口コミでの広がりも大きかったと感じました。前売りの段階では興味がなかった方でさえ、会期後半になって来場されるなど、身近な方やSNSでの情報で、最後の最後まで田中展に興味を持たれていたような気がしました。これからも、普段来られない方が興味を持てるような展示企画をお願いしたい。

(委員) 資料の中に、「※」の記載があるが「※」は何を意味してますでしょうか。

(美：館長) 館外で行った事業・催しを表わしています。

(委員) 分かりました。ありがとうございました。

(会長) 資料にフレイル予防推進事業の記載があります。現在、米子市がフレイル対策に

積極的に取り組んでおられますが、フレイル予防とアートを繋げるのはよい考えかと思いますが、参加者などはどのように集めておられるのでしょうか。また、内容としてはどのようなものなのでしょうか。

(美：副館長) 特に何をしているというわけではありません。美術館の存在だけでも、来ていただくというところでフレイル予防になるかと思います。事業として謳っているのは「アートな散歩」だけで、一緒に歩きながらアートについて話をするのですが、年齢の制限などは設けず自由に参加していただいている。参加者自身でフレイル予防としてとらえてもらえればと考えており、財団全体でもその様な考え方です。

(会長) 社会参加することが、フレイル予防となっているという考え方ですね。

(美：館長) アートな散歩は歴史館と連携しながら毎年続けていく予定で、来年度は淀江方面で開催を検討しています。

(会長) その他、いかがでしょうか。それでは、ご意見ないようですので、議題(3)の令和5年度米子市美術館事業計画について、美術館より説明をお願いします。

議題3 令和5年度米子市美術館事業計画について

(副館長が資料に沿っては事業計画について説明を行う。以下、補足。)

- ・重点施策のところ、資料では共催展(3本)とありますが(2本)の間違いです。
- ・特別企画展(井田幸昌展)について、画家であり現代美術家で海外ではかなり評価されている画家でピカソの美術館でも展覧会をされている。国内の美術館としては米子市美術館での開催が初で、夏休み期間中の開催となります。この展覧会は特別協賛として中海テレビ放送のご協力をいただき開催します。発信の方でも盛り上げていただければと思っています。
- ・コレクション展について、開館40周年ということで、部門に分けて4回の開催を予定しています。米子市美術館の収蔵品を見ていただく機会としたいと考えています。
- ・県展について、資料では会期を10月14日(土)から23日(月)までとありますが、22日(日)までの間違いです。したがって、会期も9日間となります。
- ・開館記念日イベントについて、資料の開館記念日の曜日は(土)の間違いです。

(会長) 説明ありがとうございます。今の、事業計画説明について何かご意見ご質問ございましたらお願いします。

(委員) 井田幸昌氏の展覧会があるということで、私自身、衝撃を受けた。このような方の展覧会が米子市美術館で開催されるということで、この開催のための PR 等は、どのようにお考えでしょうか。何か、既に企画検討されていることがありましたら教えてください。恐らく、海外の方が注目されている展覧会で、それに続き日本が、そして、一番知らないのが地元の方だと思っています。これは、宣伝の方法次第では、県内ではなく中国地方や日本各地から来ていただけるような特別な展覧会だと思いますので、何か宣伝の方法をお考えでしたらお願いします。

(美：館長) 中海テレビ放送と協力しながら、早めに PR できるよう詰めていきたいと考えています。世界ではよく知られ、昨年、渋谷の交差点で掲示されるなど評価の高い方なので、注目度は高いと思っています。遠方からも多くの方が来られるかと思っているが、残念ながら地元では認知度が低いというところがありますので、まずは口コミで、評価の高い画家が地元にもいることを知っていただき、是非この機会にと、広めていきたい。何か、良い案がありましたら教えていただきたい。

(会長) 井田展につきましては、中海テレビ放送も支援していこうと考えております。外ではホントに名の知れた方で、芸能界でも人気のある作家、ディカプリオさんが行っているオークションなどにも出品されるなど、世界では凄い方として通っているが、地元は今一つピンと来ていない状況で、ここが課題だと考えています。中海テレビ放送の方で考えているのはちょっとした CM ではなく、凄さを分かっていたくため、一つの番組として紹介することを考えている。可能であれば、アトリエなどへ訪問しインタビューなども行いたい。YouTube などを使いながら、少し厚みのある番組映像で凄さを伝えたいと考えています。

(美：副館長) 作家自身も、毎日のように SNS で発信しておられるので、見ていただければ、井田氏の動向が分かるかと思えます。

(委員) 私も、凄い楽しみにしていて、本当に PR の仕方によっては、見込みの 15,000 人以上の集客が見込めると感じる。特に、若い世代の方に知ってもらいたい。作家の井田氏は、会期中に米子に来られたりはあるのでしょうか。

(美：館長) 展示作業では、作家さん本人がされる予定です。勿論、オープニングには来られますし、実家も日吉津ですので。ただ、会期中ずっと居られることはないかと思いません。

(委員) 作家さんと交流等するなどして、斬新でお洒落な企画等を打ち出してもらいたいなと思っています。個人的には非常に期待している。

(会長) 出前講座とありますが、小中高校生を対象に美術館に親んでもらうために、こちらから出向いて行くという点では大切な事業だと思いますが、募集するにあたってどのように行われているのでしょうか。

(美：副館長) 小学校の図工部会に参加させていただき、その際に、出前講座について先生方にアピールしました。貸会場の展示には中学校の美術の先生方も来られますので、その際に直接宣伝もさせていただいています。

(会長) それに対しての、反響やリアクションなどはどうでしょうか。

(美：副館長) 美術館に近い学校さんへは、美術部さんなどに美術館へ来てくださいとお願いもしているが、コロナ禍のため以前に比べ来ていただき辛い状況となっています。

(会長) 分かりました。また、落ち着いてきてますので5類になれば少しづつ良くなっていくかもしれませんね。SNSのところですが、ツイッターで積極的にツイートされているのを拝見していますが、やはり、SNSによってターゲットが違う。例えば、フェイスブックですと、少し上の世代40代位の方の利用が多いようです。職員さんの手間もかかるがツイッターやフェイスブック、あと、インスタ等を活用してSNSの活用として幅を広げられてはよいかと思います。

(美：館長) 分かりました。出来る範囲でとはなりますが検討してみます。

(会長) あと、毎年出ているような気がしますが井上コレクションについてアールヌーヴォー期の作品のことだと思いますが、全作品を、アジア博物館に寄託して保管している状況ということでよろしいでしょうか。

(美：副館長) 作品の点検清掃や展示替えの際に美術館より出向く形です。ただ、実際には、まだ公開になっていませんので、保管維持に関してのみ行っています。

(美：館長) 数年前、米子市に寄贈されたアールヌーヴォー期の作品を美術館で展示開催しましたが、その後、収蔵スペースの問題もあり、アジア博物館から収蔵や展示場所のことで声かけていただいた流れで、井上コレクションとしてアジア博物館に預けてある状況となっています。なかなか準備が整はないようで開館までとはなっていないというのが現

状となります。貴重な作品ですので3カ月に1回は、美術館の学芸員が出向いて清掃や点検調査業務を実施して作品管理しています。

(会長) 早く公開されると良いですね。

(会長) では、議題(4)の令和5年度米子市美術館収蔵品の購入について、美術館より説明をお願いします。

議題4 令和5年度米子市美術館収蔵品の購入について

(館長より、これまでの経過説明を行う。)

・収蔵品の購入は約20年停まっている状況で、第一の原因は収蔵スペースがないということでしたが、一昨年に美術館後援会からの大型の作品寄贈の話があった際に、収蔵庫の一部改装が行われ、若干ではあるがスペースを設けることが出来た。これを機に、収蔵方針に沿って、収蔵すべき作家(作品)を年次的に美術館としても積極的に購入していきたいと考え、市と相談しながら候補の作家(作品)を決定し、収蔵協議を行ったのち提案させていただいている。

(副館長より、資料記載の候補作家及び候補作品について説明を行う。)

・候補作家及び候補作品(小早川秋聲/日本画1点・岩宮武二/写真28点・天野純治/アクリル2点:版画1点)

(会長) ありがとうございます。今の説明について何かご意見ご質問ありますでしょうか。

(委員) 作品に関しては、専門的な方に任せたとして、久しぶりの新規購入ということで予算とか色々あるかと思いますが、次のタイミングなどどのような感じなのでしょうか。

(美:館長) はい。収蔵スペースが確保できたといっても、何十年も持つ状態ではないので、スペースと相談しながら可能な限り年次的に購入を計画していきたいと思っています。

(委員) 収蔵庫については、いつも話しに出るが図書館とのリニューアルの際に、何とかならなかったのかと思うが、米子市としてはどのようにお考えでしょうか。

(課長) 今の時点での話しですと計画は持っていません。ただし、美術館も含めて博物館系の施設は収蔵庫は心臓部でもあるので、美術館と相談しながら収蔵に値する作品につい

ては出来る限り収蔵ができるような体制をとっていきたいと思っています。

(美：館長) 写真や版画のような小作品は、収蔵の方法によっては確保できますが、大型作品については、スペース確保がし辛い状況です。その中で、何とか工夫しながら候補作家や作品も米子市と相談しながら進めたいと思っています。

(会長) 購入するための予算は大丈夫なのでしょうか。

(美：館長) 現時点で購入するための予算化はされていませんが、米子市には美術品取得基金というものがあまして、そちらの一部を活用させていただく流れになります。

(委員) 物価高や生活に密着したところへ資金投入のような風潮がありますが、文化や芸術も大切にできる街というのも、次の世代のためにも大事かと思えますし、米子市はそれを大切にできる街であってほしいと思います。

(会長) その他、何かございますでしょうか。

(会長) ないようですので、説明を受けました3作家の購入予定作品32点について、承認いただける方の挙手を求めます。

【出席の全委員が挙手】

(会長) では、承認されました。これで、全ての議案が終了となりました。その他で、何かございますでしょうか。ないようですので、これで、美術館協議会を閉会いたします。ありがとうございました。

閉会 (15:10)